



# 検温機能付顔認証リーダー 設置マニュアル

## 1

### コネクタの接続

裏蓋開放状態



コネクタ接続状態



- ① リーダー本体の裏蓋を付属の工具で開けます。
- ② 内部のコネクタに付属のケーブルを接続します。
- ③ 管理PCやオプションの監視用タブレット端末に接続する際は、LANケーブルも接続します。
- ④ 裏蓋を閉め、ネジで固定します。

付属コネクタ



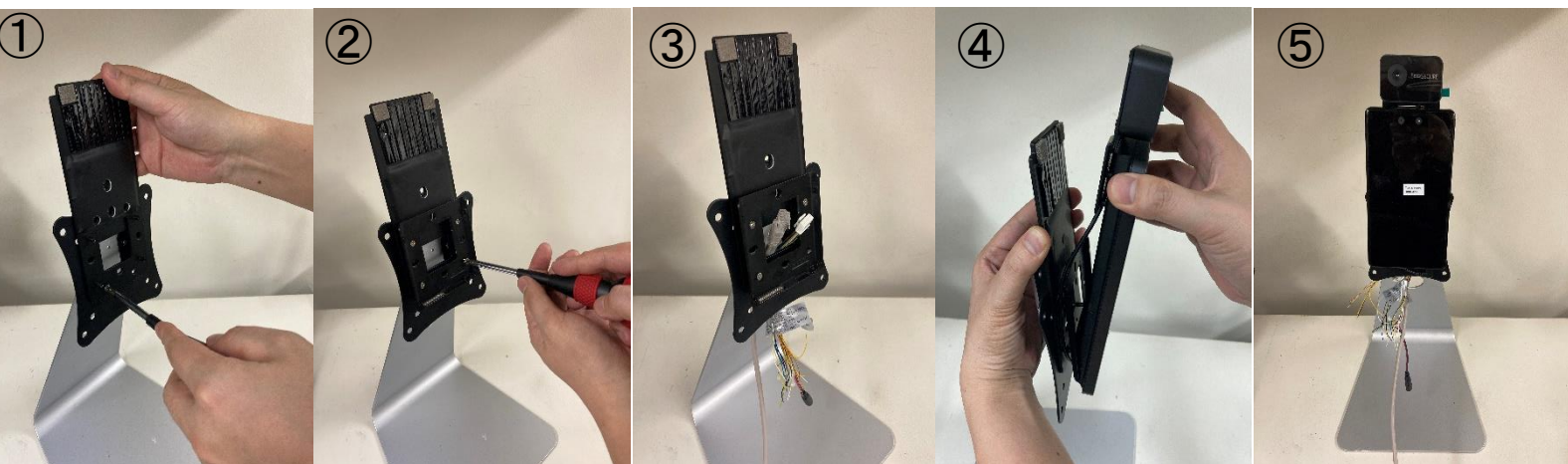
## 2

### 卓上金具への取付

専用の卓上金具(DS-DM0701B)に取付を行います。

- ① 卓上金具にリーダーの背面プレート(銀色)をネジで固定します。
- ② 本体マウントを背面プレートに固定します。
- ③ 顔認証リーダー本体から出ているケーブル類を、背面プレートの穴に通します。
- ④ 背面プレート上部の爪部分に引っ掛けます。
- ⑤ 完成です。

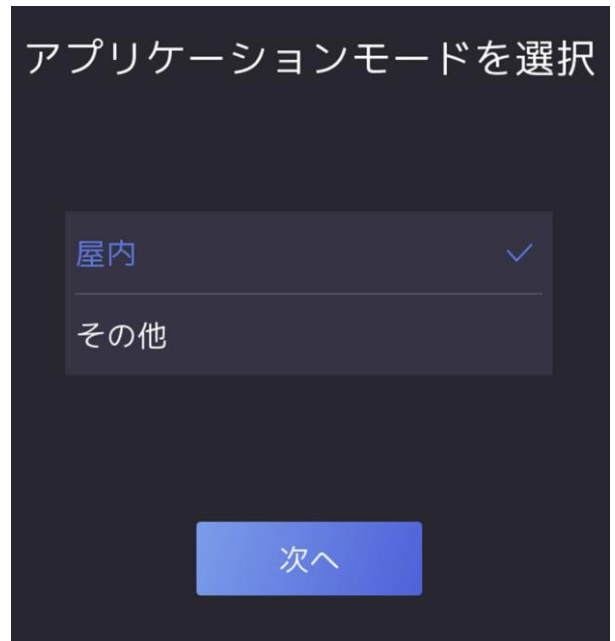
- ① 背面プレートの固定 ② 本体マウントをプレート固定 ③ 配線処理 ④ 本体とマウントプレートを固定 ⑤ 完成



# 3

## 初期設定

- ① 電源を投入すると、管理者パスワードの設定を行います。
- ② 「パスワード確認」の項目に再度同じパスワードを入力してください。
- ③ 「アクティベート」ボタンをタップします。
- ③ 「アプリケーションモード」で「屋内」を選択します。



# 4

## 検温（顔認証なし）

- ① 装置の画面内に顔が入るよう立ち位置を調整してください。
- ② 瞬時に検温が行われ、正常な温度の場合「青色」、異常な温度の場合「赤色」が表示されます。
- ③ 異常な温度が検知された場合、体温計で再度確認を行って下さい。

<正常>



<異常>



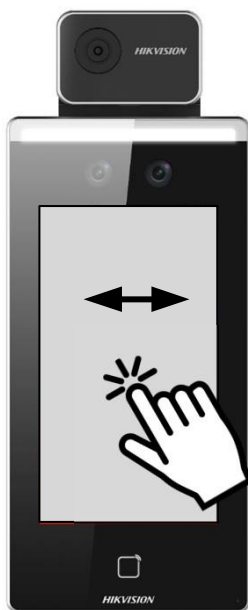


# 検温機能付顔認証リーダー 顔認証機能

## 1

### 設定画面へのログイン

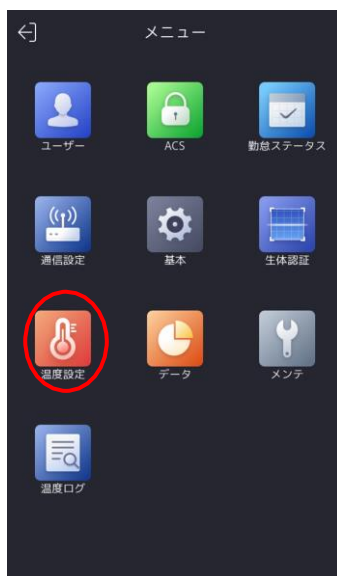
- ① 画面を5秒間長押しし、左右どちらかにスワイプします。
- ② 管理者パスワードをソフトキーボードで入力し、「OK」ボタンを押します。
- ③ メニュー画面が表示されます。



## 2

### 顔認証機能の有効化

- ① メニュー画面から「温度測定」をタップします。
- ② 「体温測定のみ」の項目を無効化します。
- ③ 右上のチェックマークをタップします。



# 3


## ユーザー追加画面の表示

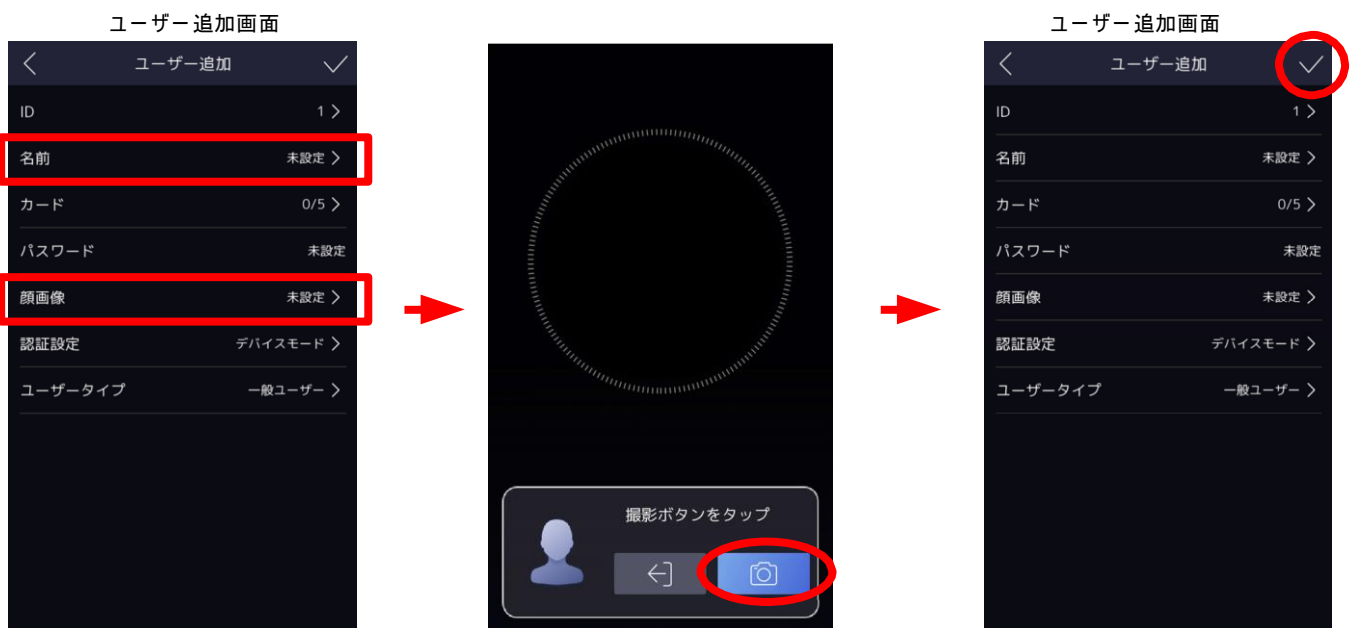
- ① メニュー画面から「ユーザー」をタップします。
- ② ユーザー管理画面右上の「+」ボタンをタップします。
- ③ ユーザー追加画面が表示されます。



# 4

## ユーザー登録

- ① ユーザー追加画面で「名前」を入力します。(アルファベット入力です)
- ② 顔が枠に入るよう調整します。
- ③ 画面左下に顔画像が保存されたことを確認し、 ボタンを押します。
- ④ 「Try Again」ボタンで再撮影が可能です。
- ⑤ ユーザー登録画面右上の「✓」マークをタップすると、設定が保存されます。



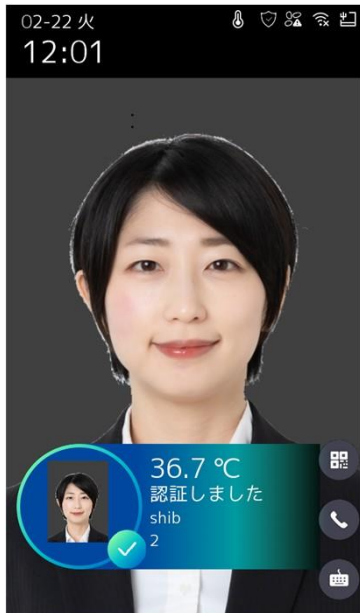
# 5

## 検温（顔認証あり）

- ① 認証装置の前に立つと、自動的に検温が行われます。
- ② 登録情報と照合が行われ、名前と登録時の顔写真が表示されます。
- ③ 正常な温度の場合は青枠、異常な温度の場合は赤枠が表示されます。
- ④ 検温結果はメモリに蓄積され、ログデータとして出力できます。

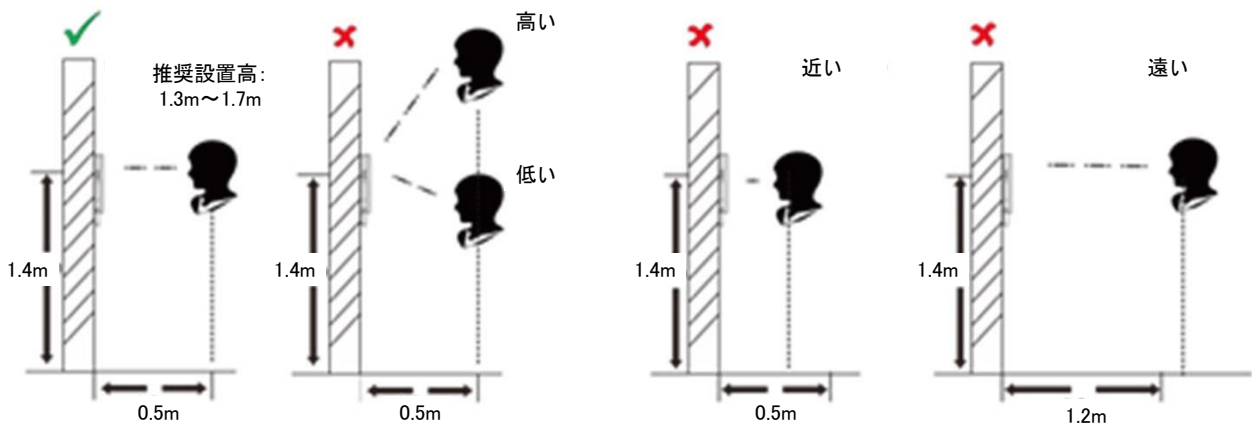
<正常な温度>

<異常な温度>



# 6

## 設置位置と認証時の向き



※最適な高さ、距離は利用者の身長等により変わります。現場の状況に応じて調整を行ってください。





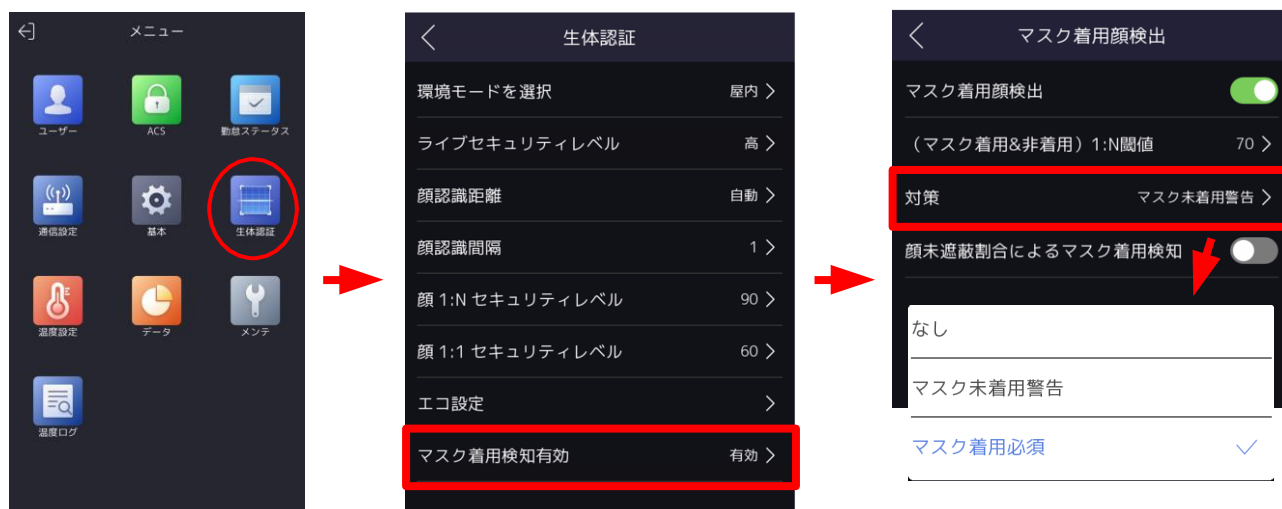


## 検温機能付顔認証リーダー その他の設定

### 1

## マスク検知機能の設定

- ① メニュー画面から「生体認証」を選択します。
- ② 「マスク着用検知有効」タブを選択します。
- ③ 「マスク着用顔検出」を有効にすると、認証画面でマスクの着用を促します。
- ④ 対策を「マスク着用必須」に選択すると、マスクを着用するまで認証しません。
- ⑤ 左上の<マークを選択し、設定を保存します。



### 2

## 温度設定の変更

- ① 設定メニューの「温度測定」をタップします。
  - ② 発熱アラームのしきい値を変更したい場合は、「温度アラームの閾値(最高)」を変更します。
  - ③ 測定された温度を強制的に補正したい場合は、「温度補正」の数値を±で変更します。
- ※気温が高い(低い)季節で、誤アラームが多い場合に調整してください。



# 3

## イベント(履歴)データのエクスポート

### <DS-K1TA70MI-Tの場合>

- ① 本体右側面のUSBポートの蓋を外します。
- ② USBメモリを挿入します。
- ③ メニュー画面から「データ」を選択します。
- ④ 「データをエクスポート」を選択し、必要なデータを選択して下さい。
- ⑤ ダウンロードの際、パスワード入力を求められますが、空欄のまま「OK」をタップしてください
- ⑥ USBメモリにデータがエクスポートされます。



### <DS-K1T672DWX-Tの場合>



※「DS-K1T672DWX-T」はUSB接続端子の位置、形状が異なります。

- ① 本体下面のUSBポートに取付られているサーマルモジュールのUSBケーブルを取り外します。
- ② USB変換ケーブル(microB→A)を挿入します。
- ③ USBメモリを挿入します。
- ④ 以降の操作は、「DS-K1TA70MI-T」と同様です。